

ゆざわ 市議会だより

令和8年8月1日

86



オレスマくんで 地域に元気と感謝を届けよう

市内のバス利用の促進などを目的に、市の主催で稲川中学校の3年生がラッピングバスの制作に取り組みました。今年、稲川中学校は「創立50周年」を迎えます。

これまで稲川中学校を支えてくださった、地域の方々や保護者の方々、先輩方への感謝の気持ちを込めて、稲川中学校のオリジナルキャラクターの「オレスマくん」を3年生全員で描きました。



主な内容

- 第2回定例会について
- 議会フォーラム2026を開催しました
- 議会からのお知らせ
- 議会のうごき



ちいき本棚

スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



議会フォーラム2026を 7月11日に開催しました！

湯沢市議会では、市民参加の多様な意見交換の機会
の場を拡充し、議会をより身近に感じていただくため
の場として毎年開催している意見交換会を今年は議員
としゃべろうマチトーク！！議会フォーラム2026
として、7月11日土曜日に雄勝地域、皆瀬地域を会
場として開催いたしました。その様子をピックアップ
してお伝えします。



今回は、「幸せなまちを考え、未来へつなごう」と題し、そのために必要と考える項目の中から、
考えたい次の3つの点を各常任委員会が挙げ、市民の皆さんと意見交換することにしました。

① 総務財政常任委員会

みんなで身近な地域交通への期待を考える

② 教育民生常任委員会

みんなが安心できる地域医療を考える

③ 産業建設常任委員会

地域でみんなが働きたくなる仕事を考える



議会フォーラムの
HPでも
ご覧いただけます。



第1会場 道の駅おがち（レストランニツ森）での様子



身近な意見をたくさん
いただきます



和やかに進める
ことができました



参加者で意見の
共有の時間



他の班では
どんな話になった？



お話した意見や思いを
書き込みます



普段はレストランが
意見交換の場に変身!!

第2会場 湯沢市皆瀬庁舎での様子



それぞれの意見の違いも楽しむ



日々の生活での実感のこもったご発言



共感した意見にシールを貼っていきます



共感した意見にシールを貼っていきます



参加者全員、今回はごちゃまぜでトークしました



快適な空間、皆瀬庁舎に初めて入ったという方も

意見交換後、各常任委員会から所見の報告をしました。(一部抜粋)

①交通について(総務財政)

第1会場



藤田委員長

●高齢者が何を目的、どこに行きたいのか、改めて調査、整理して施策に反映していく必要がある。
●いまの時刻表も見づらいという意見や乗り合わせの実状も難しいようでした。車の免許を返納しても安心して過ごせる交通を考えてもらいたい想いをたくさん伺えた。

第2会場



高橋副委員長

●いくら高齢になっても車は手放せない状況にあるが、いずれその時は来る。市と議会とが一緒に考えていくが、対応の早急さも求められる。高松地域の取組も伺ったが問題もあるようだ。一つ一つ精査しながら持続可能な交通体系をこのように意見を伺いながら作らねばならない。

②医療について(教育民生)

第1会場



佐藤委員長

医師不足や二次医療圏への不安、中核病院の医師確保、待ち時間の長さ、医療費の負担など、地域医療を取り巻くさまざまな課題や不安の声が出されていた。

第2会場



高橋副委員長

皆瀬診療所での小児科の受診と処方薬の充実や医師確保、地域間の医療格差の解消を望む声のほか、予防医療やフレイル対策、人とのつながりの大切さ、オンライン診療への期待など、幅広い意見を聞くことができた。

③仕事について(産業建設)

第1会場



寺田純二委員長

●豊富な資源を活用して稼ぐ力を発揮できる環境づくりが大切というお話や、若者が介護など様々な職業に挑戦できるような支援や多様性が認められる職場の必要性など様々なご意見がありました。

第2会場



佐藤広美委員

●大人が楽しそうに働く姿を子供に見せ、仕事に魅力を感じてもらふことの重要性、学校教育で地域の仕事を教える必要性や女性の働きやすい環境を整備する必要があるのではないかなどの声が寄せられました。

今回、ご参加くださいました皆さま、誠にありがとうございました。なお、詳しい内容は、次号あらためて掲載予定です。

議会フォーラムの合間に...

今回、道の駅おがちを意見交換の会場の一つとした理由に、現在、道の駅をリニューアルする計画が進んでおり、市民の皆さんにもっと注目していただきたいという思いがありました。

午前の部の意見交換が終了したタイミングでリニューアル計画に対して議員による現地踏査も行うことができました。

道の駅の今後の動きにも、ぜひご注目ください。



リニューアル計画によると、この場所に...



いまのシャワー室は、どのようになってた？

ここでは、可決(同意)された主な議案や補正予算の事業などについてご紹介します。

議案審議



湯沢市名誉市民の選定

●湯沢市名誉市民
菅 義 偉氏 (第99代内閣総理大臣)



人事案件

●教育長の任命
武石 睦 (再任/湯沢)



教育長の選任案に同意。
挨拶を述べる武石氏

●教育委員会委員の任命
近藤 幸一 (新任/三関)

●農業委員会委員の任命

高橋 則男 (新任/川連町)
後藤 務 (新任/三梨町)
加藤 子 (再任/三梨町)
福島 子 (再任/稲庭町)
高橋 一寿 (再任/高松)
佐藤 昇 (再任/須川)
佐藤 悦子 (再任/幡野)
高橋 敬子 (再任/岩崎)
大沼 功太郎 (再任/弁天)
水沼 義昭 (再任/三関)
宮原 正明 (再任/山田)
佐々木 昇 (再任/湯沢)

第2回定例会は、6月3日(水)から6月23日(火)までの21日間の会期で行われました。
本定例会では、湯沢市名誉市民の選定や人事案件、条例の一部改正や補正予算など議案42件、陳情5件について審議しました。
本会議5日目には、これらに加え教育長の任命や除雪機械の購入など追加議案4件が上程され、審議、議決されました。



条例の一部改正

●湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
常勤特別職の給料月額を改正するもの。

●湯沢市国民健康保険条例の一部改正について

子ども・子育て支援金制度の創設に伴い、新たに「子ども・子育て支援納付金分」の保険料率を設定するとともに、国民健康保険事業の適正かつ安定的な運営を確保しつつ、負担の適正化を図るため、現行の保険料率の見直しを行い、国民健康保険税の税率を全体として引き下げるもの。

高橋 郁夫 (再任/皆瀬)
高橋 良子 (再任/小野)
高橋 伸太郎 (再任/小野)
高橋 幸悦 (再任/秋ノ宮)
高橋 利子 (再任/横堀)
高橋 秀弥 (再任/院内)
高橋 澤 (再任/院内)

●固定資産評価審査委員会委員の選任
石川 圭二 (再任/湯沢)
築山 美子 (再任/小野)
高橋 仁志 (再任/湯沢)
高橋 一志 (再任/川連町)
菅野 桃子 (再任/山田)
菅野 誠子 (再任/皆瀬)



旧慣使用权の廃止

●小安集落
皆瀬字桁倉地内に建設中の木地山地熱発電所から、新たな送電線を建設するため、東北電力ネットワーク株式会社秋田支社へ有償譲渡するにあたり、小安集落から同意を得た土地の旧慣使用权を廃止するもの。



除雪機械の購入

●除雪ドーザ 8t級 1台
・契約金額 1694万円
・契約相手 株式会社トラスト

●除雪ドーザ 11t級 1台
・契約金額 2169万2千円
・契約相手 コマツ秋田株式会社湯沢営業所

●除雪ドーザ 14t級 1台
・契約金額 2660万9千円
・契約相手 コマツ秋田株式会社湯沢営業所



工事請負変更契約の締結

●駒形地区センター改修工事
・契約金額 1億6940万円
・契約相手 株式会社和賀組

●除雪車格納庫建築工事(1号棟)
・契約金額 2億402万8千円
・契約相手 株式会社三友建築所

令

和

8

年度

一般会計 2億9,786万4千円の増額
(補正後の予算総額は、328億8,786万4千円になります)

特別会計 2,675万8千円の増額
(補正後の予算総額は、119億2,346万1千円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

【補正予算 第1号】

▽湯沢市名誉市民顕彰

(総務課) 125万8千円
湯沢市名誉市民の称号を贈るための経費の追加

▽台湾交流事業

- ・国際交流総務費(まちづくり協働課) 336万6千円
台湾新竹県竹北市及び新北市板橋区からの訪問団受入れや、新北市板橋区で開催されるイベントに参加するための経費の追加
- ・物産振興支援事業(商工課) 880万円
台湾新北市板橋区で開催されるイベントにおいて、本市のPR等を行うとともに、台中市の百貨店において本市物産のプロモーション活動を行うための経費の追加
- ・芸術文化振興事業(生涯学習課) 29万円
台湾新北市板橋区からの青少年訪問団と市内小中学生との吹奏楽交流会を開催するための経費の追加
- ・スポーツイベント開催事業(生涯学習課) 149万4千円
台湾新竹県竹北市からの青少年訪問団と市内小中学生とのバスケットボール交流会を開催するための経費の追加

《各会計補正予算》

会 計 名		今回補正予算増減額
一 般 会 計		2億9,786万4千円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1,230万3千円
	後 期 高 齢 者 医 療	124万7千円
	介 護 保 険	2,092万1千円
	養 護 老 人 ホ ー ム 愛 宕 荘	△644万9千円
	皆 瀬 更 生 園	△126万4千円

▽環境測定調査業務

(環境共生課) 957万2千円
住民の生活環境の向上のため、悪臭発生状況の調査と改善に向けた取組を検討するための経費の追加



▽新産業団地整備事業

(商工課) 7,266万9千円
企業誘致を促進するための新産業団地の整備に係る経費の追加

▽地域農業構造転換支援事業補助金

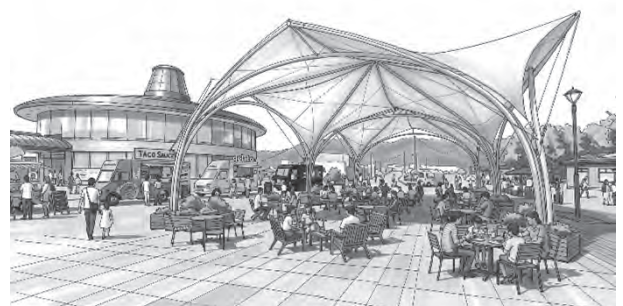
(農林課) 1,893万3千円
農業経営構造の転換や経営の改善を図るため、地域の中核となる担い手の農業用機械の導入や人材育成等の取組を支援するための経費の追加

▽スマート農業・農業支援サービス事業補助金

(農林課) 4,044万円
農業の持続的な発展を図るため、農業支援サービス事業者が実施するスマート農業機械の導入や人材育成等の取組を支援するための経費の追加

▽道の駅おがち周辺整備事業

(観光・ジオパーク推進課) 2,995万2千円
道の駅おがちのリニューアルに伴う整備事業者の選定及び小町の郷公園の再整備に係る経費の追加



AIによる道の駅リニューアルのイメージ図

令和8年 第2回定例会 議決結果一覧表

※は本会議で賛否が分かれたもの

○提出議案（46件）／6月3日、6月23日上程 6月23日議決

▼付託省略（30件）

番 号	件 名	議決結果
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（湯沢市市税条例の一部改正について）	承 認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて（湯沢市国民健康保険税条例の一部改正について）	承 認
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度湯沢市一般会計補正予算（第12号））	承 認
議案第45号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第46号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第47号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第48号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第49号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第50号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第51号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第52号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第53号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第54号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第55号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第56号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第57号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第58号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第59号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第60号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第61号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第62号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第63号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第64号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第65号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第67号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第68号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第70号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第84号	教育長の任命につき同意を求めることについて	同 意

▼総務財政常任委員会 審査（4件）

番 号	件 名	議決結果
議案第71号	湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第73号	湯沢市名誉市民の選定につき同意を求めることについて	同 意
議案第74号	旧慣使用権の廃止について	原案可決
議案第75号	工事請負契約の締結について（駒形地区センター改修工事）	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
議案第72号	湯沢市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	損害賠償額の決定及び和解について	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（4件）

番 号	件 名	議決結果
議案第76号	工事請負契約の締結について（除雪車格納庫建築工事（1号棟））	原案可決
議案第85号	除雪機械の購入について	原案可決
議案第86号	除雪機械の購入について	原案可決
議案第87号	除雪機械の購入について	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（6件）

番 号	件 名	委員会採決	議決結果
議案第78号	令和8年度湯沢市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決 ※
—	議案第78号 令和8年度湯沢市一般会計補正予算（第1号）に対する修正案	—	否 決 ※
議案第79号	令和8年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		原案可決
議案第80号	令和8年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		原案可決
議案第81号	令和8年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）		原案可決
議案第82号	令和8年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第1号）		原案可決
議案第83号	令和8年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第1号）		原案可決

○陳情（5件）

▼総務財政常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第12号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	採 択

▼教育民生常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第3号	児童安全確保のためのスクールバス体制整備および緊急登下校輸送支援に関する陳情	不採択
陳情第11号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるため の、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択

▼産業建設常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第10号	「「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求め る陳情書	採 択
陳情第13号	深堀高屋敷地区における冬期の消雪設備改善に関する陳情書	採 択

○意見書案（3件）

番 号	件 名	議決結果
意見書案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
意見書案第3号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書	原案可決
意見書案第4号	最低賃金の引上げと中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書	原案可決

賛否一覧表

本会議の採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。
議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会 派 名	湯 新 会 ・ 公 明							紫 翠 会						政 和 会					議 決 結 果
議席番号	1	2	9	10	11	17	18	7	8	13	14	15	16	3	4	12	5	6	
議 員 名	佐藤	高橋	高橋	加藤	兼子	渡部	柏原	高橋	佐藤	佐藤	小松	藤田	大山	寺田	石川	高橋	会田	宮原	
	勝	大輔	肇	昭嗣	正寛	正明	久寿	達	美	愛子	雅	健志	豪	純二	隆一	克己	一男	晃	
議案第78号修正案	×	×	×	×	／	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	否決
議案第78号原案	○	○	○	○	／	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	可決

提案理由 說明者



※藤田健志議員他3名から提出

本調査は臭気の可視化・数値化を行い今後改善・根本解決に結びつけてゆく目的の調査であるとの説明であるが、調査後の対応や調査結果を受けての取組などで不明瞭な点があり、調査期間並びに時間帯の取り方、悪臭防止法の基準を基にした「基準15」という数値の根拠、採取する検体において「何も取れない」「何も匂いが出ない」「等立証のできないリスク、匂いの発生元についても「特定」には至らず「発生元の可能性は極めて高い」という様な状況での対策であり、また今般の世界情勢により「検査数」を予定通り実施できない可能性もあるとの説明から、有効な調査効果が期待できるとは言い難い状況である。

また、8月からは事業者による別の臭気対策が始まる予定であり、その効果を見守る必要があると思う。以上の理由に加え、調査を行う前に、関係者への説明や意見交換を行い、発生源とされる事業者と対策履行を含めた協議を進めることこそが先決だと考えられる。

以上の理由から修正案を提出する。

贊成



高橋 克己 議員

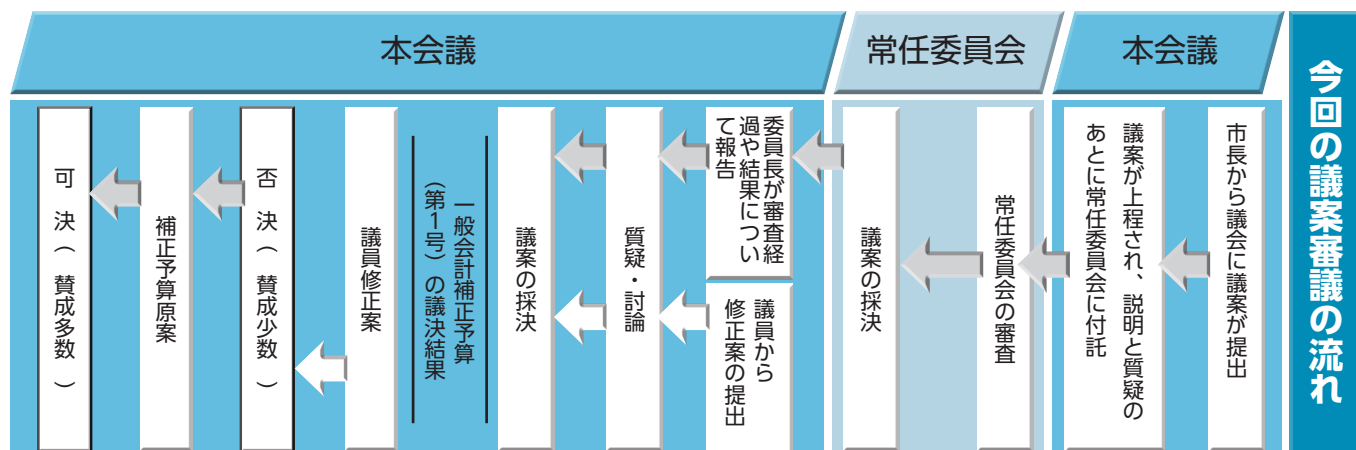
臭気について、昨年一般質問した。当局から約2万人の市民に影響が及ぶという答弁があり、市長から行政の力で対処したいという言葉もあった。いまだに大変な状況にあり一刻も早い対策を講ずるべきと考える。行政として事業を起していくためには根柢を作らなければいけない。

臭気の調査は、発生元、範囲、成分等多岐にわたり調査を行う。これをもとに、次の段階で対策を考えるという説明を受けている。この地域にいる方々は切実たる思いで見守っていると思う。

まずは調査、そして根拠を作って次の対策に移っていた方がいい。調査研究を並行して進めながら対策も練っていた方がいい。

この問題は、人口問題にまで関わるものであり、市民の理解を得られるような調査にしたい。ただきたい。

今回の議案審議の流れ



議案の修正って何？

市長などが提出した議案の内容を削除、減額、追加などにより変更することを行います。議員（委員）が修正案を提出する場合は、その案を備え、あらかじめ文書により議長（委員長）に提出します。

	討論	賛成	反対	議決結果
議案第 78 号 (修正案)	反対討論：なし	5	12	否決
議案第 78 号 (原案)	賛成討論：あり	12	5	可決

※ 賛否の議員別の詳細は、前ページ下部参照



市民が望む「ポイント制度」事業の検討について

- ◇大手飲食店の本市への出店について
- ◇福祉保健分野におけるポイントを活用した事業について
- ◇財産区のあり方について
- ◇学校教育における交通安全への対応について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



たか はし とおる
高橋 達 議員

◆**大手飲食店の本市への出店について**

質問 大手飲食店チェーンが出店することに対する市長の率直な考えを伺う。

答弁 様々な波及効果があるものと期待し、市民の皆様は長年の期待にお答えできるとともに中心市街地の賑わい創出に大きく寄与するものと考えています。

質問 隣接予定の民間収益施設誘致の今後の考え方を伺う。

答弁 複数の大手飲食店チェーンがオープンすることにより、人の流れや経済活動等が活発化することが見込まれ、他の全国チェーン店がYuinass隣接への出店を検討する可能性が高まること期待でき、誘致する業種や

出店条件を精査し、引続き誘致に取組んで参る。

◆**福祉保健分野におけるポイントを活用した事業について**

質問 ゆざわ健康ポイント事業の今後について伺う。

答弁 幅広い世代が参加できる仕組と地域活動やボランティア活動にも参加しやすい様々なアイデアを取入れた事業を検討して参る。

質問 教育民生常任委員会行政視察（見附市・広島市）で得た知見に対する市長の見解を伺う。

答弁 両事業とも持続可能なまちづくりに繋がるものであり、本市が行っている様々な施策において参考にして参る。

ひとこと

市民が安全・安心に暮らせ、生きがいと心豊かな日々が過ごせる環境整備の施策を急げ！！



質問 少子高齢化社会に向けた、新たなポイント事業の創出が必要と思うが、市長のビジョンを伺う。

答弁 財政面を含む諸課題を考慮し、本市の特性を踏まえ、デジタル活用を含めた、庁内横断的な取組の検討が必要であるものと考えています。



小さな声を力に！

- ◇楽しみながら取り組む健康づくりについて
- ◇マイナンバーカードを活用した市民サービス向上について
- ◇自転車の交通反則通告制度導入に伴う市民への周知と安全対策について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



たか はし はじめ
高橋 肇 議員

◆**楽しみながら取り組む健康づくりについて**

質問 ゆざわ健康ポイント事業について休止の理由を伺う。

答弁 事業の大きな目的の一つである検診の受診率向上に結びつかず、再検討が必要と考えたため。

質問 健康づくりに関する政策は、地域全体の活力維持につながるものであり、市民が楽しみながら健康づくりに参加できるゆざわ健康ポイント事業を再開するべきと考えるが見解を伺う。

答弁 休止に至った問題点を精査し、多くの市民が楽しみながら健康づくりにできるような、ポイント事業再開に向け検討したい。

質問 令和9年度から実施する考えはあるのか伺う。

答弁 なるべく早い時期に湯沢市に合ったポイント制度を見いだして実施したいと考える。

◆**マイナンバーカードを活用した市民サービス向上について**

質問 地域課題に応じたマイナンバーカードの独自活用について伺う。

答弁 他市の先行事例を把握しており、様々な活用可能性を視野に入れ、幅広い観点から検討を進めていく。

質問 デジタル格差解消に向けた今後の支援強化策を伺う。

答弁 地域が行うデジタル活用取組を重点的に支援し、誰もが恩恵を受けられる社会の実現に向け取組を進めていく。

ひとこと

健康づくりキーワードは「楽しみながら」これで行きましょう！



◆**自転車の交通反則通告制度導入に伴う市民への周知と安全対策について**

質問 制度導入をどのように認識し、どのように取り組むのか伺う。

答弁 湯沢警察署や関係機関と連携を密にし、制度の周知と事故予防対策に取り組む

今後の湯水・教育への備えを問う

- ◇農業用水の確保について
- ◇学校再編について



たか はし かつ み
高橋 克己 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



◆農業用水確保について

質問 今年も水不足が懸念される。昨年度の対応を伺う。

【答弁】 土地改良区等と連携し、ポンプ等の購入や借上げ、井戸掘削費用等に対し、個人等を含め193件の支援で対応した。

質問 恒久的な整備として、取水地近くに大型ポンプの設置を構ずるべきと考えるが。

【答弁】 受益者による負担に伴い、経費の案分が難しい部分もあり、協議が必要となる。

質問 雄物川上流部にはダムが無い。利水、水力発電を視野に、ダム建設を要望することも大事と考えるが。

【答弁】 県や国と連携を密にして、可能

性について検討させていただきたい。

◆学校再編について

質問 今年度の市内各小中学校の入学人数について伺う。

【答弁】 児童は、166名、生徒は231名である。

質問 現在の市内各小・中学校の学年別児童・生徒数を見たときの問題や課題について伺う。

【答弁】 令和13年では全児童数777名、生徒数581名となる見込みであり、適正な学校規模の維持が課題となる。

質問 令和13年を過ぎると児童入学者数は100名を切る。複式学級の基準について伺う。

【答弁】 2学年合せて17名を下回るよう

湯沢市も変わろう

- ◇湯沢駅周辺複合施設等整備事業について
- ◇子ども食堂について
- ◇商工業分野における事業者支援について
- ◇雄勝中央病院について



たか はし だい すけ
高橋 大輔 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



◆湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

質問 湯沢駅周辺における民間収益施設として、大手ハンバーガーチェーンがオープンした場合の様々な効果について伺う。

【答弁】 複合施設Yuinassを含む湯沢駅周辺に集客力の高いハンバーガーチェーンが出店することで、人の流れが活発化し中心市街地の賑わい創出につながるものと期待している。更に、地域の安定的な雇用をうむことが期待できる他、本市に対する様々な地域貢献策についても協議を進めている。ま

◆物価高騰対策について

質問 物価高騰対策について伺う。

た、他の民間事業者の本市への出店を検討するきっかけになることが期待され、様々な波及効果が期待できるものと考えている。

【答弁】 当市では現在、市民向けの生活応援券の発行や、事業者向けにはエネルギー価格高騰に対する運送業者への支援、また7月1日からはキャッシュレス決済普及拡大ポイント還元事業を実施する予定となっている。中東情勢が長期化する中、国では補正予算が組まれる予定となっている。自治

な状況が生じたときに発生する。

質問 生徒数の減少が進む中、部活動の地域展開が平日におよんでいく。いろいろな対策も考える必要があり、いつ頃からという目標があるか伺う。

【答弁】 休日に関する地域展開を鋭意進めている。休日の移行を完成させた後、平日へと移っていくものと考えている。目標年次は持ち合わせていない。

気象変化による湯水も子ども数減による教育環境の変化も根本的な対応が必要。



市長の中心市街地活性化に対する想いを聞いた。議会も一緒になって進めていきたい。



体の判断で活用できる地方交付金が1000億円の予算が計上されている。湯沢市の配分はまだ決まっていないが、この交付金が下りた際には庁内で協議を進めながら、新たな物価高騰対策を検討して参りたい。また、必要に応じて財政調整基金の活用も視野に入れ検討していく。



さとう まさる 佐藤 勝 議員

共生のまちづくりとは!?

- ◇市民の健康と暮らしについて
- ◇湯沢市デジタル変革（DX）推進計画について
- ◇湯沢市複合公共施設「Yuinass」について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



◆市民の健康と暮らしについて
質問 第2次湯沢市総合振興計画後期基本計画に掲げる「地域共生社会の実現」への取組について伺う。
[答弁] 本市では、子供から高齢者までが支え合う地域共生社会の実現を目指し、「相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を一体的に実施している。困りごとや孤立を防ぎ、健康や交流の場を提供し、市民や関係機関の御協力を得ながら、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。
質問 地域医療の補完としてオンライン診療窓口の開設が有効と考えるが、見解を伺う。
[答弁] 高齢化の進行や医師不足、交通

弱者対策の観点から、オンライン診療の重要性を十分に認識しており、将来の地域医療を見据え、医療機関や医師会と将来的なオンライン診療のあり方について検討していく。
◆湯沢市デジタル変革（DX）推進計画について
質問 計画の進捗状況について伺う。
[答弁] 本計画は、デジタル技術を活用し、安全・安心・便利な暮らしの実現を目的としたものであり、取組の進捗は令和6年度末で約3割程度となっている。今年度からは、国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携し、取組を加速していく。

ひとこと
今回は、健康、共生社会の実現、DX推進等について建設的な議論が出来ました。



◆湯沢市複合公共施設「Yuinass」について
質問 災害に備えた設備と機能について伺う。
[答弁] 国が示す基準以上の耐震構造と、72時間稼働可能な自家発電機を有し、災害時でも相応の対応が可能な施設としている。防災対策の徹底を図り、緊急時でも適切な対応が行える体制を確保する。



さとう ひろし 佐藤 広美 議員

移住をテーマに問う！

- ◇地域おこし協力隊について
- ◇移住・定住促進事業における高校生の留学受入れに向けた実施体制の整備について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。



◆地域おこし協力隊について
質問 農業や農村の活性化を目的とした隊員を募集する意向はあるか見解を伺う。
[答弁] 本市の農業や農村の活性化を図るためには有効な手段のひとつである。任期中の技術指導や定着後の経営相談などサポート体制を充実させて募集を考えていく。
質問 任期延長特例の導入に伴い、今後の募集をどのように考えているか伺う。
[答弁] 地域に定住してもらうための有効な仕組みであるが、要件を満たす必要があり特例の適用を受けることは容易ではないと認識している。将来的に特例の適用を視野に入れ、本市で自立して暮らしていくという強い意志を持った人材の募集も重要と考える。

◆移住・定住促進事業における高校生の留学受け入れに向けた実施体制の整備について
質問 地域みらい留学と地域高2留学の検討状況を伺う。
[答弁] 本市の人口減少対策としても制度の活用について、学校関係者と連携して進めていくことは重要と考える。
質問 受入れ先の学校の確保をどのように行っていくのか伺う。
[答弁] 市内高校との情報交換を進め、特色あるカリキュラムの構築や学校の魅力向上などについて検討を深めていきたい。
質問 本市における高校生留学の位置づけを伺う。
[答弁] 「第3期湯沢市総合戦略」において「未来を創る『若者』を応援するまちづくり」を掲げている。「移住・

ひとこと
農業分野での地域おこし協力隊の募集に前向きな答弁があった。



定住」を重要な施策と位置づけ、具体的な取組として、高校生留学を進めることとしている。
質問 県外留学生用の寮や下宿等の整備について伺う。
[答弁] 日々の学業に専念できる居住環境の整備は重要であり、多様な学生を地域として受け入れるための最適な支援の方向性について検討していく。

主に懸念材料の解消について問う

- ◇豚舎から発生していると思われる異臭について
- ◇公共施設について
- ◇金融教育の必要性について
- ◇監査について



大山 豪 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画をご覧になれます。



◆豚舎から発生していると思われる臭気に関して
質問 環境測定調査業務委託（臭気測定）について、調査の期間は。
答弁 予算可決後契約し、来年3月までと考えている。
質問 調査で臭気は捕捉できるのか、特に苦情のある朝方や夕方方の調査は可能か伺う。
答弁 早朝や夜間、受託の事業者が現場に採取に来るまでの時間的な難しさはあるが、できるだけ対応可能となるよう調整したい。
質問 調査事業者がきちんと調査を行っているかどうかの裏付けは。
答弁 市職員を同行させたい。現地の情報と採取した検体を一緒にし、中身のある調査になるよう考えていきたい。

今、市民が注目していることを問う！

- ◇物価高騰における各種支援事業について
- ◇湯沢駅周辺複合施設等整備事業について
- ◇湯沢火葬場について
- ◇「音楽のまち“ゆざわ”」について
- ◇市議会における採択した請願・陳情について



藤田 健志 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画をご覧になれます。



◆湯沢駅周辺複合施設等整備事業について
質問 大手ハンバーガーチェーンに対する要望等やオープン時期について伺う。
答弁 いろいろな面で地域貢献をして頂きたい。例えばクーポン券の配布や、店舗内への市の掲示板設置などの取組は事例があることから協議していく。オープン時期については、年内と聞いている。
◆湯沢火葬場について
質問 新火葬場整備事業に関しての進捗状況を伺う。
答弁 現在の施設の南側への整備で、概算事業費は約15億円とされ、人口割で配分すると当市の負担は約11億円となる見込みである。令和12年度供用開始を予定されている。

◆「音楽のまち“ゆざわ”」について
質問 来年度は「音楽のまち“ゆざわ”」を宣言し20周年の節目の年となるが、記念事業やその先の将来像を伺う。
答弁 市民参加型の記念事業や記念公演の実施など、内容の検討を進めている。これまで本事業に関わっていたいた多くの方々への感謝と、次の10年に向けた新たな機運の醸成につながるよう取り組む。

◆これを機に、専門の担当課を新設すべきと考えるが見解を伺う。
答弁 現在は市民主体で運営する音楽のまちゆざわ推進協議会が中心となり各種事業を展開している。今後も市民の皆様が気軽に音楽に親しむ機会の創出を考え、現行体制の中で市民の皆様

い。
質問 今回提案された公害対策事業の目的に「住民の生活環境の向上のため」とあるが、これはどういった見解か。「向上」ではなく「復元」ではないのか。
答弁 向上という言葉が少し適切でなかったかもしれない。以前の生活のレベルを確保できるような環境の整備、臭いをなくすことが求められると考える。

◆金融教育の現状と取組状況、必要性について
質問 規制を考えているか。
答弁 選択肢の一つだが、現在それに向かって進んでいない。

◆金融教育の現状と取組状況、必要性について伺う。

ひとこと

旧図書館の活用等についても質しましたが、併せて動画もご覧ください。



ひとこと

市民が注目しているということは、市に対する大きな期待である。要望の一つ一つを前向きに且つスピーディーな対応を！



が主体となり事業を推進していくことが適切であると考え。
◆市議会において採択した請願・陳情について
質問 未着手のものに対する市長の見解を伺う。
答弁 地域住民への影響度や緊急性などの観点から多角的に検証し、優先度の高いものから順次進めていく。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会より議員在職20年以上表彰を受けた高橋克己議員と、佐藤功平前議員に、兼子正寛議長からそれぞれ表彰状と記念品が伝達されました。

◎議員在職20年以上表彰

高橋 克己 議員



高橋克己議員は「市民の皆様と亡き妻の支えがあり、ここまで来ることができました。これからも初心を忘れず、市政の発展と市民の皆様のために、感謝を形にして還元していきたいです。」と市民の皆様へ向け、お礼の言葉がありました。

◎議員在職20年以上表彰

佐藤 功平 前議員



佐藤功平前議員は、「皆様の温かいご支援に支えられた議員生活を万感の思いで振り返っております。職は離れましたが、今後は一市民として、これまでの経験を活かし、地域の発展に貢献してまいります。」と、議員生活を振り返り話していました。

全国市議会議長会感謝状

全国市議会議長会評議員を務められた高橋肇議員と兼子正寛議長が感謝状を受けられました。



◎感謝状

高橋 肇 議員(前議長)



◎感謝状

兼子 正寛 議長

教育民生常任委員会 行政視察報告 5月13日㊦～15日金

・広島県広島市「高齢者いきいき活動ポイント事業の取組について」
・(株)エーゼログループ(岡山県英田郡西栗倉村)
「ローカルベンチャーによる地域活性化の取組について」

・岡山県久米郡美咲町「スマートシユリンクの取組について」

◎広島市 65歳以上の高齢者が健康づくりや地域貢献活動等を行った実績に応じてポイントを付与し、累積ポイントに応じて奨励金を支給する事業を実施しており、高齢者の社会参加促進と介護予防を両立する仕組みとなっている。今後本市の取組として、地域の担い手としての「生きがい対策」面も有しており、インセンティブを考えたデジタル化も検討しながら新たなポイント事業創出として参考となる内容であった。



◎エーゼロ エーゼログループ本社等を視察見学し、「ローカルベンチャーの創出支援」「地域おこし協力隊の積極活用」など移住者の新たな事業を生み出してきた過程や今後の展望を学んだ。

本市と行政規模は異なるものの『人への投資』や『挑戦を応援す



る仕組み(文化)」の重要性を学ぶことができた。

◎美咲町 人口減少を前提とした持続可能な地域運営と行政運営についての考え方を学んだ。

公共施設の統廃合・複合化の経緯や小規模多機能自治による住民主体の地域運営のあり方について町長自らの説明を受け、先を見据えた財政運営と地域づくりの両立について多くの示唆を得ることができた。そこには『住民との丁寧な合意形成』が必要不可欠であり、今後本市のビジョン達成に向けて、重要なことだと改めて認識する機会となった。



◎視察を通して

3市町村を視察し「人を支える仕組み(広島市)」「人を応援する仕組み(西栗倉村)」「地域を持続させる仕組み(美咲町)」と異なる視点からの人口減少社会への対応について見識を深めることができた。

・鳥取県八頭郡智頭町「森林資源の活用について」
・鳥取県倉吉市「周遊滞在型観光の取組について」
・関金地区版シユタットベルケの取組について」

◎智頭町

智頭町では、町土の93%を占める森林を活かし、「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」に基づくまちづくりが進められていた。特に「木の宿場プロジェクト」は、住民が搬出した間伐材や林地残材を地域通貨「杉小判」で買い取り、地域内で循環させる仕組みであり、森林整備と地域経済活性化を両立する先進的な取組であった。また、自伐型林業の推進や複業人材の活用、森林セラピーや木育活動など、森林資源を産業・教育・観光へ幅広く展開している点が印象的であった。



◎倉吉市

倉吉市では、白壁土蔵群や関金温泉などの地域資源を活かし、「レトロ&クールツーリズム」による周遊滞在型観光を推進していた。歴史的景観とポップカルチャーを

融合させた情報発信により若年層の誘客に成功しており、本市においても中心市街地や温泉地を結ぶ周遊観光の参考になると感じた。また、グリーンスローモビリティを活用した移動支援や観光客の回遊促進にも取り組んでいた。

さらに、関金地区版シユタットベルケでは、再生可能エネルギーの売電収益を地域交通へ還元する仕組みづくりが進められていた。人口減少や高齢化が進む中、地域課題をエネルギー事業の収益で支える発想は大変参考になった。



◎まとめ

今回の視察を通じて、地域資源を活用した持続可能なまちづくりには、住民参画と地域内経済循環の仕組みづくりが重要であることに再認識した。本市においても、豊かな森林資源や地熱資源を活かした施策の検討を進める上で、大変有意義な視察であった。

PICK UP! いし がわ りゅう いち **No.04 ★★★**

石川隆一議員の視点

山田の史跡めぐりツアー

女神像参拝と山田の名所めぐり



秋田県指定有形文化財
白山神社女神像
秋田県指定有形文化財
山田の史跡めぐりツアー

地域自治組織支援事業

山田地区には白山神社の女神像をはじめ、歴史的価値の高い建造物や県指定文化財が多く残っています。2012年から「山田史跡めぐりツアー」を継続して実施し、史跡と自然を楽しみながら地域の歴史に触れていただいています。地域への理解と愛着が深まる取り組みとして期待しています。

※支援事業の中の一つの利用例です。 **注目度：★★★★★**

令和8年度当初予算額 2,792万円 **魅力度：★★★★★**

PICK UP! てう た じゅん じ **No.03 ★★★**

寺田純二議員の視点



湯沢駅周辺複合施設等整備事業

今年11月に、Yuinias（ゆいなす）がオープンします。誰もが集い、多世代間交流を深め賑わいを創出できるような施設になることを期待する気持ちでいっぱいです。

市民の皆さんが湯沢市に住んでいて良かった、誰もが住みやすく感じるまちを築いていくための拠点の一つとなることを望みます。

期待度：★★★★★

令和8年度当初予算額 35億3,987万7千円 **工夫度：★★★★★**

地域経営のための 議会改革度調査2025 ランキングが 発表されました

この調査は、早稲田大学デモクラシー創造研究所が全地方公共団体議会議事務局に対し、前年一年間の議会活動に関する調査を行い、数値化してランキングにしているものです。総合順位については「政策力の強化」、「主権者の参画」、「議会機能の強化」の三つのカテゴリーで評価され、その得点の合計で総合順位が決定されます。

これらは、あくまで一つの指標となりますが議会のいわば、通知表とも言えます。

前回の全国総合順位は20位でしたが今回は32位。他の議会も地域経営に根差した議会を常に目指して活動しており、しのぎが削られています。

今後も、議会の改革を着実に進めていくとともに、市民の皆さまから評価いただける議会を引き続き目指してまいります。

個別データ票

地域経営のための議会改革度調査2025

▼ 総合評価

湯沢市議会

得点
845 点

全国総合

順位

32 位

(母数) /1372

都道府県内

順位

1 位

(母数) /19

満点：3105点 / 平均：355点 / 最高：1375点

▼ 分野別評価

政策力の強化

得点 375 点

全国	順位	25 位
都道府県内	順位	1 位
自治体区分	順位	14 位

主権者の参画

得点 355 点

全国	順位	47 位
都道府県内	順位	1 位
自治体区分	順位	35 位

議会機能の強化

得点 115 点

全国	順位	86 位
都道府県内	順位	1 位
自治体区分	順位	49 位

政務活動費って何??

「政務活動費」とは、議員が政策立案、政策提言などを行うための調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、湯沢市議会における会派および会派に属さない議員（会派無所属議員）に対して、議員1人当たり月額10,000円を交付の上限として交付されます。

◎ 政務活動費の対象経費のイメージ

会派・議員としての活動			私人としての活動・選挙活動 等
調査研究活動以外の活動	調査研究活動	議会活動	
○補助金等の要望活動など	○会議・広報広聴等 ○議会活動での調査・資料作成	○本会議・委員会等への出席 ○議員派遣	
政務活動費（対象の範囲は条例で定める）		費用弁償	私費

政務活動費の交付を受けた会派、会派無所属議員は、当該年度終了後、収入および支出の報告書（収支報告書）を作成し、領収書などの証拠書類を添えて議長に提出しています。

湯沢市議会では、より一層、政務活動費の運用の透明性を高めて、市民に対する説明責任を果たすため、「完全後払い」として、収支報告書や領収書などをホームページで公開しています。



次のページでは、その執行状況について報告します。

※ 会派とは、議会内に結成された、同じ考えを持った議員の集まり。2人以上で構成される団体のことを指しています。



令和7年度 湯沢市議会政務活動費執行状況一覧



市ホームページで公開しています

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆ 関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和8年2月1日から令和8年4月30日までに締結したもの 2件
- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和8年2月1日から令和8年4月30日までに締結したもの 該当なし

令和7年度 湯沢市議会政務活動費執行状況一覧（令和7年4月1日～令和7年10月31日）

議員任期：令和3年11月1日～令和7年10月31日

名称	湯和会・公明	政和会	湯沢政策研究会	宮原 晃議員	佐藤 勝議員	加藤昭嗣議員
主な活動内容	①R7.5.25-26 ◇調査研究(東京都) ②R7.8.26-28 ◇研修費(北海道) ①台東区会議	①R7.9.16 ◇要請・陳情活動(秋田市) ②R7.9.27 ◇広報(会報) ①要望書	①R7.8.26-28 ◇研修費(北海道) 全国市議会議長会 研究フォーラム	①R7.8.27-28 ◇研修費(北海道) 全国市議会議長会 研究フォーラム	①R7.8.27-28 ◇研修費(北海道) 全国市議会議長会 研究フォーラム	①R7.8.27-28 ◇研修費(北海道) 全国市議会議長会 研究フォーラム
						

	湯和会・公明	政和会	湯沢政策研究会	宮原晃議員	佐藤勝議員	加藤昭嗣議員	計
交 付 上 限 額	550,000	350,000	140,000	70,000	70,000	70,000	1,250,000
交 付 金	342,700	223,120	135,345	59,230	51,395	51,890	863,680
そ の 他 収 入			6,080				6,080
収 入 合 計	342,700	223,120	141,425	59,230	51,395	51,890	869,760
調 査 研 究 費	276,930						276,930
研 修 費	65,770		141,425	59,230	51,395	51,890	369,710
広 報 費		201,913					201,913
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		21,207					21,207
支 出 合 計	342,700	223,120	141,425	59,230	51,395	51,890	869,760

※このほか、政務活動費を伴わない勉強会なども行われています。

令和7年度 湯沢市議会政務活動費執行状況一覧（令和7年11月1日～令和8年3月31日）

議員任期：令和7年11月1日～令和11年10月31日

名称	湯新会・公明	紫翠会	政和会	会田一男議員	宮原 晃議員
主な活動内容	①R8.1.27-28 ◇調査研究(神奈川県) ①厚木市役所	①R8.1.27-29 ◇調査研究(東京都) ①三鷹市役所	①R8.3.31 ◇広報費 会派活動報告チラシ ①会派活動報告チラシ	①R8.3.28-31 ◇資料購入費(書籍) ◇事務費(インク) ②R8.3.28、30-31 ◇調査研究(岩手県) ②たのはた思惟の風	①R8.3.26 ◇研修費(東京都) 生成AIチャットGPT を活用した、質問づ くり最新セミナー議 員活動をアップデー ト
					

	湯新会・公明	紫翠会	政和会	会田一男議員	宮原晃議員	計
交 付 上 限 額	350,000	300,000	150,000	50,000	50,000	900,000
交 付 金	281,760	300,000	134,236	44,674	49,620	810,290
そ の 他 収 入		15,468		3,796		19,264
収 入 合 計	281,760	315,468	134,236	48,470	49,620	829,554
調 査 研 究 費	281,760	315,468		21,238		618,466
研 修 費					49,620	49,620
広 報 費			134,236			134,236
資 料 購 入 費				20,240		20,240
事 務 費				6,992		6,992
支 出 合 計	281,760	315,468	134,236	48,470	49,620	829,554

※このほか、政務活動費を伴わない勉強会なども行われています。

議会のうごき

4月・5月・6月

- 4月2日 月イチ📺オンラインミーティング
4月10日 教育民生常任委員会委員協議会
4月15日 広報広聴委員会、産業建設常任委員会委員協議会
4月20日 総務財政常任委員会委員協議会
4月27日 議会運営委員会
4月28日 月イチ📺オンラインミーティング
5月8日 広報広聴委員会
5月12日 産業建設常任委員会行政視察（～14日、鳥取県八頭郡智頭町、倉吉市）
5月13日 総務財政常任委員会委員協議会
5月13日 教育民生常任委員会行政視察（～15日、広島県広島市、岡山県西粟倉村、美咲町）
5月20日 全員協議会、新産業団地に関する会派説明会、議会改革研修
5月21日 北海道釧路市議会行政視察
5月22日 議員特別研修（石川隆一議員／東京）
5月28日 議会運営委員会、広報広聴委員会
6月3日 本会議（開会）、各常任委員会委員協議会
6月5日 総務財政常任委員会委員協議会
6月9日 本会議（一般質問）
6月10日 本会議（一般質問）
6月15日 予算決算常任委員会・分科会、教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
6月18日 予算決算常任委員会全体会、全員協議会、第3次湯沢市総合振興計画基本構想（案）に係る意見交換
6月22日 議会運営委員会
6月23日 本会議（閉会）、産業建設常任委員会、議員全員協議会
6月30日 月イチ📺オンラインミーティング

議長交際費(4月・5月・6月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
会費	東北市議会議長会定期総会出席者負担金 ほか	13	104,000
弔慰	元湯沢市議会議員死去 弔慰金 ほか	3	40,000
賛助	原水爆禁止国民平和行進 協賛金	1	5,000
接遇	北海道釧路市議会来湯時の歓迎酒代	1	1,530
印刷	議長名刺代	1	5,940
合計		19	156,470

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

■ご意見等をお寄せください。

- 湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただくほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵 送：〒012-8501

湯沢市議会事務局 宛（住所不要）

FAX：0183-72-3780

メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp

※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。



9月定例会の日程（予定）

8月27日	本会議 開会(議案上程、提案理由説明)
8月31日	本会議 (議案質疑・付託、請願・陳情付託)
9月2日	本会議 一般質問
9月3日	本会議 一般質問
9月4日	(一般質問 予備日)
9月7日	予算決算常任委員会（全体会：総括質疑）
9月8日	予算決算常任委員会(分科会:決算審査)
9月9日	常任委員会・分科会
9月10日	(常任委員会 予備日)
9月14日	予算決算常任委員会（全体会）
9月18日	本会議（採決） 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は8月19日(水)午後5時

■議会傍聴について

- 本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎4階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継について

- 本会議の様子を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信（ライブ・録画）をしていますのでご覧ください。



秋田県湯沢市議会

ユーチューブチャンネル



編集後記

昨今、手紙やはがきを出す機会が少なくなってきた、日常的な連絡は電子メールやSNS、メッセージアプリなど、スマートフォンを利用した伝達方法になってきています。折込チラシや広報などもデジタル版とすることが増えてきています。配達する時間が不要で費用もほとんどかからないためでもあります。

便利なデジタル手段が主流になっても、特別な思いや気持ちを丁寧に伝えたい場面では、手紙やはがき、広報紙面が一定の役割を持ち続けて欲しいものです。

（宮原 晃記）

広報広聴委員会

委員長 高橋 大輔
副委員長 佐藤 愛子
委員 高橋 克己
委員 佐藤 美晃
委員 宮原 晃
委員 佐藤 勝